

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
リハビリテーション	2年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	渡邊 裕之 ※
授 業 概 要					
<p>人々は健康障害が発生したときからすでに回復過程にある。生活行動を援助し、セルフケアに向けた援助を実施していくには、リハビリテーションの概念を理解するとともに、具体的なリハビリテーションの理論と技術を習得する必要がある。</p> <p>ここでは、リハビリテーションの基礎を学び、他職種理解を深める。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの概念について説明できる。 2. 運動器疾患ならびに脳卒中の回復過程と障害に対するリハビリテーションの基礎を理解する。 3. チーム医療として行われるリハビリテーションに関与する職種と役割について理解する。 4. リハビリテーション看護の持つ意味と意義について理解し、リハビリテーションの担い手の一人として役割を理解する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. リハビリテーション概論				渡邊 裕之 ※
	<理学療法士とその役割について>				
2	2. 運動器疾患の障害と理学療法				渡邊 裕之 ※
3	3. 脳卒中片麻痺の理学療法				清水 忍 ※
4	4. 内部障害（呼吸・心臓）のリハビリテーション				清水 忍 ※
	<作業療法士とその役割について>				
5	5. 脳卒中片麻痺の作業療法				渡邊 誠 ※
6	6. 失行、失認の評価とリハビリテーション				渡邊 誠 ※
	<言語聴覚士とその役割について>				
7	7. 摂食・嚥下機能障害とリハビリテーション				村上 健 ※
8	8. 失語症のリハビリテーション				村上 健 ※
学 習 方 法					
<p>他職種の理解を深めながら、教科書中心に自学自習を進める。</p> <p>各看護領域の方法論と連動させながら知識技術をつなぎ合わせて学習に臨みましょう。</p>					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 武田宣子 他著 医学書院					